

クラブ拡張および会員維持／増強



私のクラブ、私の家族

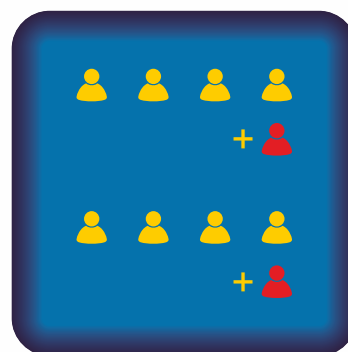
親愛なるワイズファミリーのみなさま

まず、会員の維持について説明します。この写真は、2022年7月に部最優秀クラブを受賞した私たちのクラブです。1番面白いのは、私の前に居て、表彰を受けているのが、私たちの会長で現国際会長ニュース編集長のダニエル・トーマス、その隣が妻のアヌウです。ダニエルの父親、KT・トーマスがクラブ会長だった時に一緒に仕事が出来たのは、光栄なことでした。右端は、ダニエルの娘さんたちで、彼女らもまたクラブのメンバーとして活躍しています。つまり、この1枚の写真に3世代の会員が写っているのです。アメリカの俳優マイケル・J・フォックスは、「家族というのは重要なものではない。家族こそすべてだ。」と言っています。ワイズメンズクラブ国際協会でも、クラブで最も重要なのは家族であることは間違いありません。家族を重視することが、他の奉仕団体とは違うところであり、家族を加えることで運動の発展も早くなるのです。ですから、魅力的なプログラムや機会を作り、若い人たちや子どもたちがクラブの活動に参加できるよう、さらに努力しなければなりません。これからも、意欲的な家族の運動にしていかなければなりません。

私たちの最も重要な目的の1つは、会員の増加と拡大ですが、ここに私たちが実行できる簡単な仕組みがあります。

- 3人のクラブ会員が毎年1人ずつ新会員を増やせば、3年後には会員数を2倍にすることができます。
- また、区や国の枠を超えて、同じような奉仕、事業、親睦に関心を持つ仲間を見つけるために、他の地域にもクラブを設立するよう、クラブ会員に呼びかけています。

会員増強



すべてのクラブは、それぞれ3~4人のクラブ会員からなるサブグループを結成します。
各サブグループは、2022-23年度にそれぞれ1名の新会員を獲得します。

あなたの灯を 輝かせよう!

ワイズダムの親愛なる友人のみなさま

7月5日、デンマークのオーフスで次期国際会長に任命されました。

オーフスは、私にとって重要な場所です。1984-86年に私がデンマーク区議会のメンバーだった時、区理事エリック・クリステンセンは「あなたの灯を輝かせてよう」というテーマを掲げていました。

1986年にオーフスで開催された国際大会で、彼は、私たち全員に個人的なインスピレーションを与えてくれたのです。私は、2023-24年の国際会長の任期に際し、彼のテーマを選びました。なぜなら、すべてのワイズメンが調和して生き、クラブの成長の原動力となることがとても重要だと感じたからです。

私は、すべての人に前向きな姿勢というボディランゲージを使ってほしいと思っています。笑顔は、二人の間の最短距離です。そして、笑顔は、良い対話のきっかけになるのです。私の国際会長としての任期は、EMC（クラブ拡張および会員維持／増強）に重点を置くことになります。しかし、私は「CME」と言いたいのです。なぜなら、まず、クラブの中で良い会員維持活動をしなければならないからです。

活動や例会で、親睦が深まるのを皆が感じなければなりません。そうすれば、友人、家族、スカウト、YMCA、近所の人など、私たちの関係者は、私たちのクラブの一員となることをうらやましく思うことになり、私たちは、成長することができます。

ヨーロッパでは、会員増強についてよく議論されますが、会員が増えない言い訳として、私たちは年を取りすぎていて、若い人たちは、気心の合う人たちに会いたがっている、ということがあります。私たちは心を開いて、若い世代に合うような構造に変えていかなければなりません。イエス・キリストの教えやYMCAとのパートナーシップについては、妥協してはなりません。それが私たちの個性であり、困っている人を助けるという卓越した奉仕と相まって、成長を実感できるはずです。

私は、サミュエル国際会長のアイデアと目標のパートナーとして、可視化、成長、コミュニケーションに努めたいと思います。

2016年の台湾における国際大会のテーマである「調和の中で生きる」に沿って、私たち全員が行動しましょう。



次期国際会長 ウルリック・ラウリドセン
ヴィジュアルII（デンマーク）ワイズメンズクラブ

国際本部ニュース:2022年9月

エクステンションの強調月間である9月、私たちは、共に成長し、親睦を深め、インパクトを与えることを楽しみにしています。国際本部は、9月1日から12月9日まで、第4回「100日間会員増強キャンペーン」を開催し、成長への意欲を支援します。サミュエル国際会長の計らいに倣い、会員の中に3人の小さなエクステンションチームを作り、キャンペーン期間中に新会員を勧誘する役割を与えることを、すべてのクラブにお勧めします。そうすることで、親睦を深め、アイデアを共有し、成功の可能性を高めることができます。エクステンションは、威圧的なものではなく、むしろ刺激的なものになります。また、あなたの努力は、国際的な賞の受賞資格を得る可能性があることを忘れないでください。2月から1年間に、会員が6人以上増加したクラブは、ブースター・クラブ賞を受賞します。同期間に個人で3人以上の会員を獲得したメンバーは、ブースター個人賞を受賞します。他国のクラブをスポンサーしたクラブは、EBBA（エクステンション・ビヨンド・ボーダーズ賞）を受賞します。資金面で問題がある場合は、SDS（特別開発支援）資金をチャーター成功のための費用の一部として使用することができます。詳細については、地域会長または区理事にお問い合わせください。

2022年9月4日から9日まで、タイのチェンマイYMCAにおいて70人以上の海外からの参加者で開催される国際ユースコンボケーションに向けて、私たちは胸を躍らせています。ユースプログラムアシスタントのトングは、国際ユース代表のクリシュナンや他のファシリテーター、地元のワイズメンやYMCAと協力して、楽しく刺激的なプログラムを作り上げるために努力してきました。2018年以來の対面式、国際的なユースミーティングになる予定です。

ポール・ウィリアム・アレキサンダーのリーダーシップのもと私たちの国際協会が創立されたニュージャージー州アトランティックシティでの第1回大会と同じ日付の11月15日から17日に台北で予定されている国際100周年記念式典にどうぞ参加してください。大会の詳細や登録方法については、[大会ウェブサイトをご覧ください](#)。登録はお早めに！お得な料金でご参加いただけます。2023-24年に就任する区理事と地域会長のための国際次期理事サミットも、この祝賀会に続いて、2022年11月17日から20日にかけて開催されます。事務局ではプログラムの作成に取り組んでおり、近日中に関連するリーダーと連絡を取る予定です。

100周年記念の年、私たちは、みなさまからのPWA遺産基金へのご寄付により開始されたポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトを誇りに思っています。例えば、オハイオ州トレドにある創設者の墓に花崗岩の標柱を設置したこと、彼に敬意を表して公園の名前を変更したこと、また、最近ジュネーブに国際本部オフィスを購入し、デジタルアーカイブのプラットフォームを確立したことなどが挙げられます。私たちは、すべての区と地域が私たちの歴史を保存するために協力することを求めている、各区、地域の平等な表現を優先しています。アーカイブズ、希望する資料、アーカイブズ管理者または、ユーザーになるためのプロセスに関する詳細については、国際本部までお問い合わせください (<http://archives.ysmen.org/>)。また、まだ寄付をされていない方は、基金への寄付をご検討ください。あなたの寄付は、私たちの運動の未来への贈り物です。

最後に、9月は、国際的な選挙プロセスの観点からも重要な月であることをお知らせして、締め括りとさせていただきます。すべてのクラブが今年度の投票に参加できるよう、必要な措置を講じるようお願いいたします。つまり、クラブがグッドスタンディングであることを確認し、9月30日までにクラブ会長の名前とEメールアドレスを国際本部に提出することです。また、免除条件を満たしているクラブは、9月30日までに投票権の申請をそれぞれの区の理事に提出する必要があります。

私たちの少人数からなるチームは、いつも皆さまに奉仕するためにここにいます。ご不明な点がございましたら、[お気軽にお問い合わせください](#)。



国際書記長ジョース・ヴァルギース

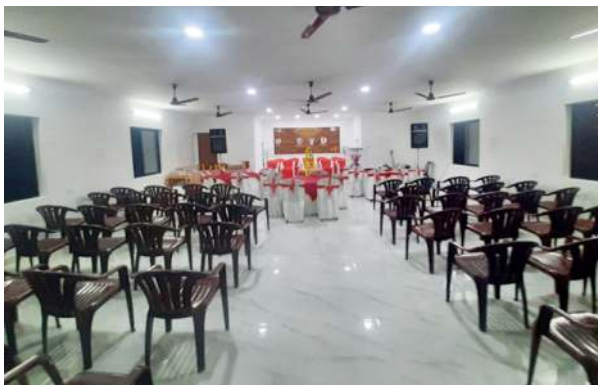
ワイズメン100周年記念館

マーサンドムYMCAプロジェクトキャンパス内、インド地域、南西インド区、第3部

J・A・ジャヤラル
南西インド区、第3部元部長



100周年記念館のコンセプトは、新型コロナウイルス救済プログラムとの組み合わせで生まれた



会議場内部の様子



ワイズメンやYMCA指導者の立会いのもとで行われた礎石据付の様子



ニューデリーのYMCA本部で行われたプロジェクトの打ち合わせの様子



独立したワイズメン部管理事務所

6月27日、インドのタミル・ナードゥ州マーサンドムにある伝統あるマーサンドムYMCAプロジェクトキャンパスに、設備の整った2,000平方フィート（185平方メートル）の会議場が南西インド区第3部によって落成されたときは、夢が実現したような気分でした。2021年、私が第3部の部長を務めていたとき、ジョース・ヴァルギース国際書記長の意欲と、マーサンドムYMCAプロジェクト会長であるダドリー・フェン元部長が示したオープンな姿勢に支えられて、100周年記念事業として第3部のワイズメンズクラブのための会議場と事務室をYMCA敷地内に建設することが検討されました。デリーYMCA事務所や他のリーダーたちにも相談したところ、皆、積極的に後押ししてくれました。

300人の会員を抱える部にとっては、大きなプロジェクトでしたが、2021-22年の部長ジェームズ・ウィルソンの意欲により、2022年7月4日にプロジェクトの礎石が据え付けられました。費用は、新型コロナウイルスやその関連で、複数の障害に直面しましたが、チームは、クリスマスキャロルや抽選会、個人の寄付を募って目標額であった150万インドルピー（18,780米ドル）を集めることができました。そして、6月27日、ワイズメンやYMCAのリーダーたちが見守る中、盛大に落成式が行われたのです。また、同敷地内には、部事務局も設置され、こちらも同日落成式が行われました。会議場は、ワイズメンズクラブ事務局とYMCAが維持管理することになります。私たちのワイズメンズクラブは、YMCAの多くの社会福祉事業を支援してきました。これは、ワイズメンズクラブとYMCAが、人類の福祉のために、慈善的、利他的なプロジェクトを組み合わせるというプロジェクトの相乗効果を示す一例です。この100周年記念の年に、私たちの部が例会用の建物と事務所を所有することができたことは、私たちの部の全てのクラブの会員全員の誇りです。私の後任のジェームズ・ウィルソン、現部長のK・ラジクマール、そして次期部長のM・ボールドウィン・ブルースが、この使命をより一層、多様に引き継いでくれることを期待しています。

カメルーン 恵まれない子どもたちのための教育プロジェクト



新学期が近づいてきました。ニュービジョン・バメンダワイズメンズクラブ（[フェイスブックページへ](#)）とムビアメ・ニュービジョン多目的農業開発協会（[フェイスブックページへ](#)）は、カメルーン北西部と南西部で続いている社会政治的緊張の結果、国内避難民となった学齢期の恵まれない子どもたち（3～15歳）50人のために学用品の購入と授業料の支払いをすることを可能としています。

9月に学校が再開されるため、2022年8月30日までに15,000米ドルを都合しています。ひとり当たりの300米ドルは、学年全体を通して子どもたち一人一人に使われる予定です。これは、本、通学かばん、筆記用具、制服、靴、授業料、1年間の健康保険への登録、その他の必要経費の出費に充てられます。

昨年は、25人の恵まれない子どもたちが小学校に通い、5人が医療分野（看護・助産）

に進むための専門学校に通うことができましたが、国内避難民が増え続け、教育、医療、食料、住居、水衛生、保健へのアクセスが限られ、子どもたちがより不安定になる中、十分ではありませんでした。そのため、カメルーンの教育プロジェクトやワイズメンズクラブ国際協会の「戦略2032」の一環として、少なくとも50人の恵まれない子どもたちを支援するために、支援を強化することが必要不可欠となっています。みなさまの支援なしには、このようなことはできません。この素晴らしいプロジェクトのために、私たちはチームを組み、資金を集める必要があります。

世界経済全体に影響を及ぼしていると思われる我が国の現在のインフレ率では、11,000米ドルのうち4,000米ドルしか調達できていません。みなさまのご支援があれば、もっともっと前進できるはずです。

設立以来、ニュービジョン・バメンダワイズメンズクラブは、1つのワイズメンズクラブ（コモングッド・バメンダワイズメンズクラブ）と5つのワイズユースクラブ（YYC）（ニュー・ヴィジョン・バメンダYYC、ネイチャー・バメンダYYC、ムビアメ・ピース・ヴィジョンYYC、エボーク・チェンジ・バメンダYYC、セイヴィア・クンボYYC）の設立を支援しています。

ワイズリー

C・P・タタ

カメルーン部、事業主任（プロジェクト・国際業務担当）

恵まれない人々のための医療奉仕

キメヘルパーズハイとキメキュアクラブによる合同医療奉仕活動

韓国地域、ブウルギョン区、キメ部

投稿者：キメヘルパーズ・ハイワイズメンアンドウイメンズクラブ

2022年6月11日（土）、キメヘルパーズハイとキメキュアクラブは、韓国キメ市の恵まれない町、ハリムドクチョン村で合同医療ボランティア活動を行いました。新型コロナウイルスの影響で、公民館や老人会館は2年以上閉鎖されていましたが、最近社会的なソーシャルディスタンスが緩和されたため、このような活動が可能になりました。キメキュアクラブとの共同医療奉仕は、「健康ボランティア」をスローガンに掲げたヤン・ジュホン第4代会長の勢いに乗ってスタートしました。

ハリムドクチョン村は、ハンセン氏病の患者24世帯が暮らす村です。診療所は、全く無く、病院に行くにも公共交通機関を何度も乗り換えなければなりません。そして、周りには無許可の小さな工場があります。40代、50代の人はおらず、最年少は70代後半、あとは80代以上の高齢者ばかり。治療当日は、早い時間にもかかわらず、すでに多くの人が老人福祉センターで待っていました。この地域には医療機関がないため、この人たちにとって医師の診察は、大きな意味を持ちます。循環器科（チョイ・ギュナム院長）、整形外科（パク・サンジェ）、泌尿器科（ヤン・ジュホン副院長）での治療のほか、注射、薬の処方、物理療法なども行われました。

村長の尽力により、この村のお年寄り、全員来ることができました。診療を待っている間、「このようなことをしていただくのは初めてです。」「今度また来てください。」「食事も出したかったのですが・・・」と、心から歓迎してくれました。彼らは、部外者がほとんどいない寂しい場所に住んでいるので、私たちの訪問をととても喜んでくれました。医療ボランティアも大切ですが、それ以上に、人との出会いを求めて、一緒に過ごす時間を大切にしているようです。

愛情をもって尊重し、共に行動するグローバルな友好ボランティア団体「ワイズメン」の目的のように、人のために自分の才能を活かし、分け与えることでやりがいと喜びを感じることができました。キメヘルパーハイとキメキュアクラブの医療奉仕は、今後も続き、ワイズメンズクラブの目的をうまく利用して、多くの人とコミュニケーションをとり、困っている人すべてに働きかける団体になるように努力します。



プロジェクトとイベント



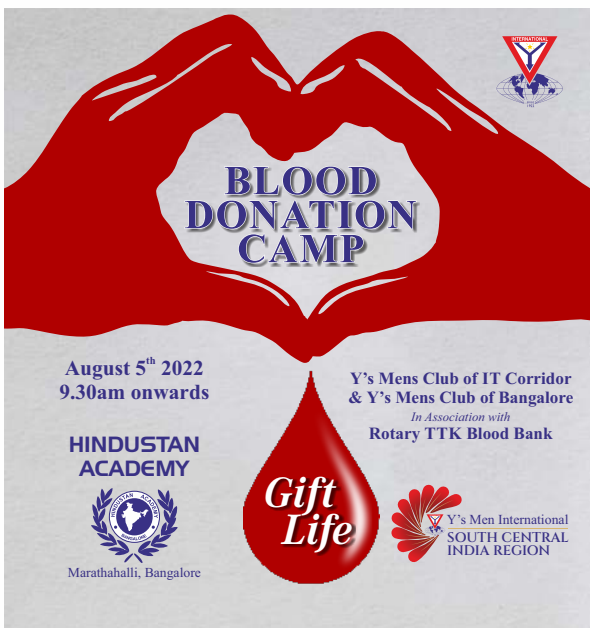
ティルップルニットシティクラブの設立例会

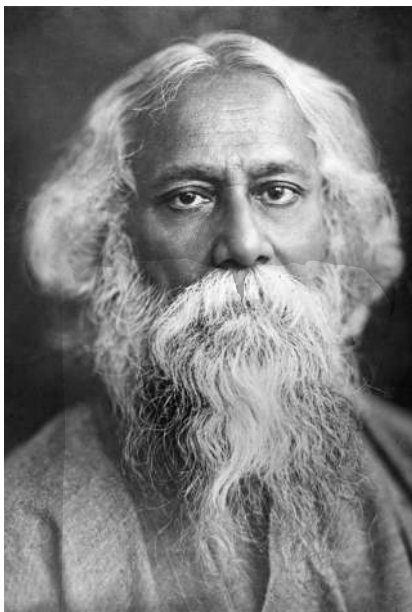
ティルップルワイズメンズクラブは、自身が障がい者であるラリスクマール・ナタラジャンが運営するNGO「愛と受容」との連携を開始しました。元理事のスプラミニ・ラジュベッタンと国際会長のK・C・サミュエルが、ナタラジャンに車椅子を手渡しました。



ー セントラルトラバンコール区ゾーン1、第2部の設立例会

来賓：テオドシウス・マル・トマ・メトロポリタン閣下





心に恐れを抱かない場所

8月15日、インドは75回目の独立記念日を迎えました。インドのノーベル賞受賞者ラビンドラナート・タゴールのこの詩や祈りは、世界中の人々、そして今なお自由を求める多くの心に、大きなインスピレーションを与えてくれるものだと思います。

ギータンジャリ³⁵

ラビンドラナート・タゴール著

心には恐れがなく、頭は高く保たれている。

知識が自由であるところ。

世界が狭い家庭の壁によって断片的に分割されていないところ。

真実の深みから言葉が生まれるところ。

たゆまぬ努力で、完璧をめざして腕を伸ばしているところ。

理性の澄んだ流れが、死んだ習慣の荒涼とした砂漠の砂の中に迷い込むことのないところ。

心があなたによって、ますます広がる思考と行動に導かれるところ。

その自由の天国へ、わが父よ、わが国を目覚めさせてください。

編集長ノート

もし、いい話、ニュース記事、プロジェクトの写真などをお持ちでしたら、ysnipnews@gmail.com まで編集長にメールを下さい。

10月の強調月間は、アレキサンダー奨学基金（ASF）です。

よろしくお願いします。

ダニエル・トーマス

2022-23年度国際会長ニュース編集長

翻訳 田尻忠邦 校閲 田中博之